

本時のねらい

水産業のまとめとして作成した問題を交流し、水産業に関わる知識理解を広げ、深める。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

ジャムボードを活用し、自分たちで作った水産業に関する問題を共有し、多くの問題に触れ、より新たな気付きや知識を深める。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC
- ・プロジェクタスクリーン
- ・テレビ
- ・ジャムボード
- ・Google Forms
- ・iPad (教員用)

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○めあての確認をする。 「相互学習を通して自分の考えを広げたり深めたりしよう」 ○ジャムボードの活用にあたって、注意事項の確認をする。 ・よい問題の観点…資料や文章から読み取る問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクリーンに注意事項を映し出すことで、視覚的に伝えやすくしている。 ・言葉の使い方や正しい操作といった情報モラルの指導を同時にすることで、適切に使う意識を持たせている。
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ○クラスの友だちが作った水産業のまとめ問題を解く。 ○よい問題について班で話し合う。 ・資料を活用しないと解けなかった問題 ・理由を答える問題 ○クラス全体で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時にジャムボードを使って問題を付箋で作成し、答えを問題の下に隠している。問題の付箋を動かすとすぐに答えを見られるので、個人で問いと答えを確認することができる。 ・まとめ問題を作るページを班ごとに指定することで、全てのグループの問題を解くと、学習内容を全て網羅することができる。 ・グループの中で付箋の色を分け、誰がどの問題を作成したかを色ですぐに判別できるようにする。 ・iPadのタイマーをテレビに映し、児童が作業時間を把握しやすいよう配慮する。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のふりかえりを行う。 ・この学習を通して新たに得たことを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・GoogleのFormsを使ってふりかえりを行うと集約が簡単になり、その集約したものをスクリーンに映すことで全員が書いたことを即座に共有することができる。

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：友だちが作った問題を確認し、教科書を使いながら調べている場面



写真2：どの問題がよい問題だったかをグループで交流している場面



写真3：Google Formsを使って今日新たに学んだことをふりかえりにまとめている場面

児童生徒の反応や変容

- ・意見をすぐに共有できるだけでなく、訂正も簡単なので容易に交流ができた。
- ・ふりかえりに関しても、その場で全員の文章を集約できるので内容や文章量のがんばりを認めてもらおうと意欲的に書く児童が増えた。
- ・リアルタイムに自分の画面に付箋が増えていく様子は学習意欲を刺激するようでとても主体的に取り組んでいた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・全体で共有するためにはテレビでは小さく、プロジェクタなど大画面が必要だと感じた。
- ・いずれ学校⇔家でオンライン双方向となったときの準備にもなるのでオンラインを活用した交流方法に慣れることが必要だと思う。